

NEWS RELEASE

THE SHIMIZU BANK,LTD.

令和4年7月19日
株式会社 清水銀行

オンサイト PPA モデルを活用した当行店舗への太陽光発電設備設置について ～サステナビリティ経営の実践～

清水銀行（頭取 岩山 靖宏）は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、鈴与商事株式会社（代表取締役社長 伊藤 正彦）とのオンサイト PPA※モデル契約に基づき、当行袖師支店屋上に太陽光発電設備を設置することとしましたのでお知らせします。なお、オンサイト PPA モデルを活用した太陽光発電設備の設置は、静岡県内の金融機関として初の取り組みとなります。

当行は、第 27 次中期経営計画「ZENSHIN～架け橋を築く～」において「経営基盤の強化」を基本方針として掲げ、サステナビリティ経営の実践に向けて当行の取り組みに留まらず、地域金融機関として地域のお客さまの SDGs や ESG に資するご支援などさまざまな取り組みを進めております。

平成 31 年 4 月には「清水銀行 SDGs 宣言」を公表し、令和 3 年 12 月には「環境方針」「責任ある投融資方針」からなる「清水銀行サステナビリティ方針」を策定、令和 4 年 2 月には「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明するなど、持続可能な社会の実現や社会的課題の解決に向けた取り組みを加速させてまいりました。

鈴与商事は、メガソーラーの設置やバイオガス発電所の運営、地方自治体とのエネルギー地産地消事業など、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを実施しており、カーボンニュートラルの推進に向けた取り組みを積極的に行っています。

今回契約するオンサイト PPA モデル契約については、袖師支店のほか、今後当行施設への導入拡大を検討していくことで、当行のサステナビリティ経営を実践し、鈴与商事と共に持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

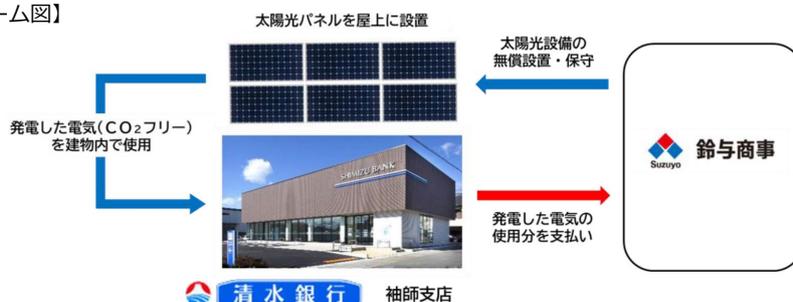
※オンサイト PPA モデル：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略。

企業が保有する施設の屋根や敷地に電力販売事業者が無償で発電設備を設置し、発電した電気は企業が使用することで、電気料金と CO2 排出量の削減が期待できるビジネスモデル。

【概要】

供給開始日	令和4年8月上旬
対象店舗	清水銀行袖師支店（静岡市清水区西久保 301 番地の 3）
電気小売事業者（PPA 事業者）	鈴与商事株式会社（静岡市清水区入船町 11 番 1 号）
電気契約内容	太陽光発電による電気利用（PPA モデル）

【スキーム図】



以上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ> 清水銀行 経営企画部 土屋 054-353-7895
総務管理部 風間 054-353-7737



清水銀行